

平成 27 年（2015 年） 9 月 30 日

蘇南高等学校 終始業式全校集会訓話原稿

皆さん、あらためまして、こんにちは。

学問の秋ということで、少しむずかしいお話をします。

国民的作家といわれた司馬遼太郎のエッセイに「以下無用なことながら」というのがあります。「以下無用なことながら」今日は言葉の話をします。

フランスのシオランという人が「祖国とは国語である」と言いました。例えば、英語で Japanese と言えば、「日本人」という意味と「日本語」という意味があるように、日本人とは「日本語を母国語にしている民族」のことです。

日本語は世界の言語の中でも不思議で特異な言葉だとされています。外国人が勉強するには、日本語はとてもむづかしい、と言います。日本語は一応ウラルアルタイ語系とされていますが、最近ではどの語系にも属さない「孤立語」だという説が強くなりました。つまり世界で似た言葉はないということです。

中国語とは全く違うし、隣の韓国の言葉とでさえ、少なくとも 5・6 千年前までの範囲内では兄弟関係にはないということが今は証明されています。

さて、日本語は曖昧さと省略に大きな特徴があります。

その典型は、つまり日本語らしい日本語のひとつが「こんにちは」「さようなら」と先司馬遼太郎は書いています。改めて考えてみて下さい。「こんにちは」「さようなら」とはどういう意味ですか。漢字で書けば「今日は」「左様なこと」です。毎日我々は「今日は・・・」「左様なことでありますならば、・・・」と言いつつ合っているのです。文章として完結していないのでこれらは英語に訳せません。英語に直訳すれば today is・・・ so then・・・ くらいでしょうか。

例えば、さようならには「また会いましょう」などということは、言葉自体にはどこにもありません。英語でいう good bye は God be with you・・・ 神があなたのおそばにいますようにという意味です。

もう一つ see you again これはもろですね。中国語でも「再見」といいます。日本語の「さようなら」とは全く違います。

「さようなら」には言葉自体には何も意味はないのですから、「左様なことでありますならば、・・・」の・・・の部分に日本語では最大の意味があるのです。

つまり、元気な声や穏やかな語調で笑みをもって「こんにちは」といえば「私も一日今日は充実した日を送りますので貴方の一日も良い日でありますように」と言うことですし、にこやかに「さようなら」と言えば、「そうですか、左様なことでありますならば、さて、あなた様にはまたお会いしたく思います」という意味になりますし、冷たい口調で「さようなら」というと「そうですか、左様なことでありますならば、さて、あなた様には二度とお会いしたくありません」という意味なのです。

日本の文化は「思いやりと察し」の文化だといえます。日本語はその省略と曖昧さ故に、自分が話す時も、他人（ひと）の話を聞く時も、常に相手の気持ちになって発信したり受信したりしなければならない言語です。

明治大学の齋藤孝教授は、(この場合)、場の空気を察知し、相手を気遣うという想像力を高度に要求される。日本語を使うこと自体が、相手の気持ちや場の流れを読む力を育むトレーニングとなっている。と解説しています。

また氏は、

(我々日本人は)『気遣い』や『心配り』をしながら、いわば高度な気のネットワークを張り巡らせて、互いの気持ちを瞬時に察知する。こうした気遣いのネットワークを張った高速チームプレーこそ、まさに日本人のお家芸、最も得意とするところだ。とも述べています。

「思いやりと察し」は世界の他の民族にもあるとは思いますが、おそらく日本人はこの感覚が最も鋭い民族の一つでしょう。そう言えば今ではもう死語になっているのでしょうか、流行語の一つに、「K・Y（空気読めない）」がありましたが、日本語社会のこの事情をよく表しています。

人が集団社会の中で暮らす以上「気遣い」や「心配り」が大切であり、他人を気遣うことができ他人に心配りができることが美德とされている日本社会はやはりすばらしい社会だなと思います。

さあ、今日から長い後期が始まります。

後期は皆さんにとって「選択の決定の決断の連続です」総合学科の蘇南高校は他の高校より「選択や決断」が多く迫られます。その時皆さんは決して楽な方の道をとってはなりません、自分の将来のために力を蓄える授業を選択してほしいと思います。

そして「志」を高く持ってほしいと思います。まずは第 3 回の定期考査に向けての勉強です「試験は 70 点以上」を目指してください。書いて書いて覚えてほしいと思います。自己ベストの学習時間を費やしてほしいです。

私の大好きな合唱コンクールですが、そろそろ歌声が響いてくるとワクワクしています。全体練習が 100 回を超えると急に声が出なくなります。しかし 120 回を超えると、とても澄んだ美しい声が出るようになります。こういう体験を皆さんには是非味わってほしいです。大いに期待しています。

与えられたものを受け身的にやるのではなく、自分で考えて、自分を律して、行動する経験から得た知恵と勇気の種を一つずつ増やして過ごしましょう。

これから第 3 回定期考査、強歩大会、大好きな合唱コンクールとクラスマッチとちょうど良い間隔で予定されています。「どうせやるなら 楽しく！」を合言葉にまた先生方と一緒に歩みを勧めましょう！

最後に私がこの夏に中学 3 年生を対象とした体験入学で披露された音楽部の皆さんの歌に感動しました。今日はあの感動を皆さんと分かち合いたくて特別に演奏をお願いいたしました。楽しみましょう！